



～ 自他共栄～ NO.39

2025年5月21日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

夏季手当第2回交渉～要求の根拠～

中央本部は5月21日に「2025年度夏季手当第2回交渉」を行いました。

組合の要求の根拠

- ・2025年度に入っても物価上昇率は高い状況が続き、4月には4,000品目を超える商品の値上げがされ、6月には食品や日用品、消耗品など1,000品目を超える値上げが検討されている。今年の春闘では一律ペア2,000円が実施されたものの、物価上昇には追いついておらず、青年部員の生活に大きな負担となっている！
- ・23年3月期より、54億円の改善をしている。この間の青年部員の努力に対して、会社は答えるべきである！
- ・この間、青年部員は輪軸問題などへの対応に超勤などで対応をしている。その後も、軸変え作業で、全検や滞留車など2月には100両を超えていた。そういった状況下でも安全・安定輸送の確保に奮闘している青年部員の努力に対し、満額で答えるべきである！

会社の回答

- ・この間の貴組合員の努力には感謝している。2024年度の単体△8億円に抑えることができた。また、23年度3月期△62億円からすると、大幅に改善してきているが、黒字に至っていない。貴組合の主張はしっかりと経営陣伝えていく。
- ・離職率は近年上昇しており、21年度は1.17%だったが24年度は2.38%であった。今後も離職防止はやっていかななくてはならない。メンター制度を入れるなど、対応していく。
- ・貴組合の主張はしっかりと受け止め、会社経営陣へ伝えていく。会社の考えを示していきたい。

会社は、決算で現れた青年部員の努力に対して、姿勢で応えるべき！
青年部は会社英断を迫り最後まで闘い抜こう！！